

第19号



まちづくりは、あなたと私で

市自公連だより

筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

役員の
ことは

公民館は、「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」の拠点！

筑紫野市自治公民館連絡協議会

会長 中野 二郎（松ヶ浦公民館 館長）



公民館における「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」は、相互に深く関連し、地域全体の活性化を目指すものです。公民館は、地域住民の学習機会の提供や、様々な活動をとおして、個人の成長を促し（ひとづくり）、地域住民間の交流を促進し（つながりづくり）、最終的に地域全体の課題解決や地域活性化に貢献する（地域づくり）役割を担っています。

公民館ネットワークのかなめである市自公連では、コミ協との密接な連携の下、ワンチームとして自治公民館を拠点にした「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」を推進し、地域コミュニティの発展に寄与することを、令和7年度の事業方針として取組んでまいります。具体的な活動のひとつとして、市内自治公民館の現地研修（市内自治公民館等研修ツアー、各地区公民館交流会）を実施し、現場での臨場感あふれる活発な意見交換、情報共有化を推進します。

令和6年3月に作成・配布した公民館ハンドブックの情報は市のホームページにも掲載されていますが各公民館の活動情報が集約され随時更新されていますので、今後とも継続的に活用していただきたいと思います。また、市の重点施策である「子どもの居場所づくり」推進に寄与するため、公民館開館時間の拡大、見守り要員の確保などの課題解決に取り組み、放課後学習サポート・遊びの場提供・親子向けイベント開催・多世代交流推進など、子どもたちが公民館の活動に参加しやすい環境づくりに努めていきたいと思ひます。

本年度も市自公連へのご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年度 筑紫野市自公連事業方針・重点目標

事業
方針

コミ協&自公連の密接な連携
ワンチームとしての運営

持続可能な公民館活動の継続

「人づくり・つながりづくり・
地域づくり」の加速

地域コミュニティの発展に寄与

研修推進・情報共有化

- 地域防災、地域福祉、教育
- 市内公民館等の現地研修
- 研修成果のフィードバック

公 民 館 講 座 推 進

- 自治公民館ハンドブック運用
- 公民館活動の見える化

公民館を拠点とする
ひと・つながり・地域づくり

- コミ協・コミセンとの連携
- 企業と連携した講座推進（スマホ講座等）

- 子どもの居場所づくり
- 公民館の常時開館推進

二日市コミ協の再編対応

- 市自公連規約改正案の策定
- 市自公連組織の確立準備

重
点
目
標

令和7年度市自公連定期総会

令和7年5月10日(土)生涯学習センターさんあいホールにおいて市自治公民館連絡協議会定期総会が開催され通常の事業報告・決算・予算に加え、二日市コミュニティ運営協議会の解体・再編に対応した市自公連の規約改正（案）及び令和7年度の役員等選出（案）に関する議案が提案されましたが、すべて承認されました。

（参加者：175名）



令和7年度主要事業計画

4/11	委員会（総会等）	10月	地区別公民館交流会（各地区自公連主催） 【10月～2月の中で各地区開催】
4/18	理事会（総会等）	10/31	役員会（地区別公民館交流会等）
5/10	筑紫野市自公連定期総会	11/8	市内公民館等研修ツアー
6/21	館長・主事等研修会（テーマ：地域防災）	11/21	理事会（地区別公民館交流会等）
7/4	役員会（推進大会内容等）	1/22	福岡県公民館実践交流会 （県公民館連合会主催）
7/11	理事会（推進大会内容等）	未定	福岡地区公民館研修会（福岡地区当番研修）
8/22	福岡県公民館大会	2/13	役員会（総会等）
8/28	九州地区公民館研究大会	3/13	理事会（総会等）
～29	（九州公民館連合会主催合同研修）		
9/12	役員会・理事会（推進大会準備等）		
9/27	推進大会（テーマ：地域福祉）		

- ・10月～2月の中で、地区別公民館交流会を实地予定
- ・必要に応じて、臨時役員会・理事会を追加開催予定
- ・理事会等において、随時スキルアップ研修開催予定
- ・定期的に、自公連活動紹介の情報誌等発行予定
- ・市内の参考事例公民館等の研修ツアー予定
- ・随時、公民館ハンドブック（公民館関連情報共有化）更新、ホームページ掲載予定
- ・随時、企業と連携した公民館出前講座開催予定

令和7年度 市自治公民館連絡協議会役員・理事等

役職名	氏 名	備 考
会 長	中野 二郎	松ヶ浦館長
副会長	天野 哲則	常松館長
副会長	萩尾 茂俊	若葉中原館長
副会長	満生 豊光	山家6区館長
副会長	石内 繁実	萩原館長
事務局長	中野 みほ子	美しが丘北副館長
会 計	中島 敏郎	天山館長
理 事	尾上 登士夫	天拝坂主事
理 事	市丸 裕子	中原主事
理 事	松下 昌弘	萩原主事
理 事	藤 裕次	ゴルフ場 団地主事
理 事	今村 一彦	永岡主事

役職名	氏 名	備 考
理 事	森高 伸子	美しが丘南主事
理 事	平山 淳子	山家2区主事
参 与	轟 治峰	生涯学習課長
参 与	柴田 昭雄	二日市 コミュニティセンター館長
参 与	桑野 晋一	二日市東 コミュニティセンター館長
参 与	雪竹 裕子	山口 コミュニティセンター館長
参 与	白水 哲也	御笠 コミュニティセンター館長
参 与	吉開 和子	山家 コミュニティセンター館長
参 与	野田 清仁	筑紫 コミュニティセンター館長
参 与	江崎 雅彦	筑紫南 コミュニティセンター館長
会 計 監査委員	田原 すま子	中央区館長
会 計 監査委員	船越 龍二	平等寺館長

令和7年 福岡県公民館実践交流会 in宗像ユリックス



各地域における実践活動の成果や課題について互いに情報交流を深め、今後の公民館活動等を一層充実させることを目指して開催されました。4会場に分かれて8テーマが発表されましたが、その中から2テーマを紹介します。参加者は全部で626名で、筑紫野市から12名が参加しました。

地域の健康づくり

芦屋町自治公民館活動

地域の防犯・防災活動、環境美化活動、高齢者の見守り活動をはじめ、地域住民が気軽に参加できる交流事業を企画開催している。大城区公民館では、地域の高齢者の閉じこもり防止や孤立感の解消、認知症予防などを目的に、週1回、地域交流サロン活動として健康体操や茶話会を行っている。

地域愛あふれる子どもたちを地域全体で育む取組を通して～「はぐみ」一枚の葉から大きな花へ～

筑前町四三島地区公民館活動

健康づくりのために立ち上げたラジオ体操の取組がきっかけとなり、町事業の補助を活用しながら、登下校中の子どもの見守りや、挨拶の推進、地域の活性化・自治公民館活動の充実を目的とした区民祭の開催等、様々な取組を行ったことで、「地域の子ども」を地域全体で育てていく意識が高まり、子育てや家庭教育支援につながっている。



地区別公民館交流会

二日市地区 武蔵公民館

「心と心ふれあい武蔵大家族」

令和7年2月8日(土)、武蔵公民館で地区別公民館交流会が開催され、雪の降る中、36名の方が参加されました。武蔵地区は、昭和19年に区長制度が始まり81年が経過し、武蔵区長は現在17代目です。地域の伝統を守り、新しいことも受け入れながら順調に時が流れています。



昔は農地・山林が多く農業従事者が主役でしたが、今はショッピングセンターや飲食店が立ち並び、集合住宅も増え、武蔵区の人口も当時の二倍を超えました。若い世代の方々が転入され、未来を担う子どもたちの笑い声に将来を期待できると感じています。



昨今、希薄化が懸念されますが、日頃のコミュニケーションを大切にしながら、地域行事を開催しています。地道な活動を地道に続けていくこと。些細なことにも感動できる心で地域を盛り上げていきたい。「楽しそうな事を見つけて集まる」これが一番大事だと思っています。

武蔵青年部・MBF（MUSASHI BIG FAMILY）ダンスチーム・BBQ楽しみ隊など若い人達も自発的に参加する活動を着々と推進しています。

質問や意見交換の中で、交流会の目的を十分に達成できたのではないかと感じています。武蔵区のスローガン「心と心ふれあい武蔵大家族」を掲げ、地域大家族の絆を大切にしていきたいです。



地区別公民館交流会

筑紫南地区 筑紫南コミュニティセンター

2月9日(日)、「筑紫南地区における自然災害と防災対応～温暖化／南海トラフ／警固断層～」と題して筑紫南地区公民館研修会を開催しました。参加者は本地区の公民館長(区長)・主事・民生委員・児童委員・筑紫南コミュニティ運営協議会委員に加え、テーマを防災に据えたことから地域の防災士の皆さんもお迎えし54名が参加しました。

講師として、気象庁に勤務されていた河野誠氏をお招きしました。今まで数多くの災害に対応され、勇退後も被災地を何度も訪れ、現在も防災活動に取り組んでおられます。



講演はこれまでの豪雨による災害の分析から始まり、これから起こるであろう南海トラフ地震について歴史的事実と地震に関する基礎知識、さらに能登半島地震被災地での現地調査結果の報告が行われました。これらを踏まえて、地域防災の大切さ、その中でも特に地区防災計画立案の重要性を説かれました。事実に基づいた講演に対して、参加者から、「災害への危機感とこれからの活動への動機付けを感じる大変意義深い研修会になった」との多数の意見をいただきました。



地区別公民館交流会

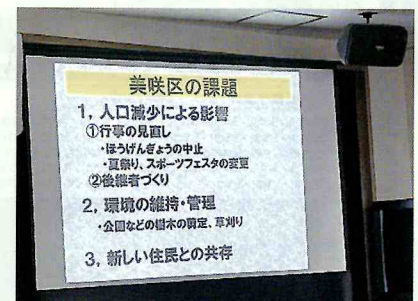
2025.2.16

「美咲区のまちづくり。まちづくりは、人づくり」

美咲区は30年以上前から、住民全員で月1回まちづくりの話し合いが始まり、現在も自分たちのまちは自分たちで住みやすいまちになるか通達事項などを交えて会合を続けています。世帯数は、10年前から30世帯ほど増えていますが、人口は逆に55人少なく独居が多くなっています。また年少人口（0～14）に至っては35名、生産年齢（15～64）は30名少なくなり、高齢人口（65～）は10名多くなっています。そのため高齢化率は、30.4%→38.2%と超高齢地域となりました。

超高齢地域になっても、住みやすい住みたいまちにするため、毎月の公園や公園周りの道路の清掃作業、樹木の剪定、子どもたちによる公園のトイレ清掃、2か月に一度の子ども会による資源回収、年に5～6回の宝満川河川敷の草刈りなどを行っています。

主な活動としてコロナ禍前までは、スポーツフェスタ、ほうげんぎょうなど行っていましたが、以前のような行事もできなくなり、8月に納涼会と称してみんなでバーベキュー、年末には餅つき大会、夜間パトロールなど行って地域住民の交流を図り次世代につなげています。



地区別公民館交流会

2025.2.22

二日市東地区 朝倉街道団地公民館

我が地区では、社会教育の拠点としての公民館活動を行うとき、「1.自公連との連携 2.各種社会教育関係団体との連携」を基本として、学習活動の支援、生涯学習の啓発、さらに世代を超えての人のつながりを大切にしてきました。

公民館活動は一人でも多くの人に参加してもらえるような町内運営を目指し、自主防災組織活動隊の心強い協力体制があり、夜間パトロール男性27名、昼間パトロール女性9名も団地の安心安全にとってなくてはならないものになっています。

毎月町内報では地区の状況や公民館行事、団地住民の意見などを掲載し配布しています。また、役員だけの町内運営ではなく、地域の意見が反映されるように役員会議の内容などオープンにしています。

公民館交流会の意見交換で大きく二つの課題が見えてきました。「子どもと高齢化問題」です。「子どもの居場所づくりの例として公民館の常時開館がありますが、子ども達を見守る人が必要です。この条件を満たすことができれば基本的な対応ができるのではないか」という意見が述べられました。

また、高齢化問題ですが、朝倉街道団地では加入減で昨年からは休止している活動をどう復活させるか検討しています。ほかの公民館でも事情は異なるが課題もあるようです。

今回の研修内容を参考にして公民館を中心に、さらに人々が繋がりがよいまちづくりを目指したいものです。公民館経営は生涯学習において求められるものが「地域住民による自治」から「自治による地域社会の構築」へと移り変わる過渡期にあり、課題が多くあるとの思いを今更のように実感した研修会になりました。



コミュニティ紹介

筑紫よかまち協議会

筑紫よかまち協議会とは

コミュニティ11行政区の自治会等をはじめとする各種団体によって構成された地域自治組織（コミュニティ運営協議会）です。

協議会では地域内の連携の強化や地域の人材育成とともに、1つの行政区だけでは取り組みが難しい地域課題を解決するために活動しています。今回は広報誌として年4回発行している「よかまちかわら版」の第36号の一部を紹介します。



福祉推進者のつどい 健康福祉部会

令和7年2月22日「令和6年度第3回福祉推進者のつどい」を区長・自治会長・協議会運営委員・民生委員・児童委員・福祉委員等総勢11名の参加により開催いたしました。内容として、これまでの推進者のつどいの振り返り、(株)くももと健康支援研究所松尾氏による「支える側・支えられる側ではなく、お互いに支え合う地域の取り組み」と題した講話、またグループ分けによるワークショップを行いました。

最後に現在取り組んでいる、筑紫第3行政区の「買い物支援の取り組み」の現状報告を行いました。



第3回小・中学生カルタ大会開催 次世代育成部会

令和7年1月11日第3回筑紫よかまちカルタ大会の中学生の部(1～2年生)が筑山中学校で開催されました。各組4名とカルタの読み手5名の計45名とスタッフ合わせて60名の参加でした。小学生の部は1月19日に開催し、参加者・保護者・先生・スタッフ合わせて200人ほどの参加で大盛況でした。



筑紫路 巡めぐり スタンプラリー



2月18日から3月3日まで「春になったら筑紫路 巡めぐり」が開催されました。永岡公民館、筑紫コミュニティセンター、筑紫神社に豪華に豪華な雛人形やさげもんが飾られました。

期間中、3会場をスタンプラリーしていただいた方には、永岡公民館にて先着600人に鶴あられを贈呈し、またコースターなどの商品が当たる抽選会もありました。



ベタンク・ボッチャ大会 各行政区対抗

1月26日筑紫野市平井・三市長をお招きし、協議会設立10周年記念のベタンク・ボッチャ大会を開催しました。各行政区から勝ち上がった24チームを4ブロックに分け、Aブロックは、筑紫駅前Aチーム、Bブロックは常松Aチーム、Cブロックは筑紫Cチーム、Dブロックは下見Bチームが優勝、栄えある総合優勝は筑紫駅前Aチームでした。参加者は、選手スタッフ合わせて150名でした。



「よかまちかわら版」は広報委員7名で制作しています。

協議会の全体事業（総会・コンサート・文化祭・安西均献詩表彰式）や部会事業を写真を交えて掲載しています。

健康福祉部会の「福祉推進者のつどい」・次世代育成部会の「小・中学生カルタ大会」・永岡区・筑紫神社との共催の「筑紫路難巡りスタンプラリー」・地元へ貢献されている方や団体へ送られる地域善行表彰など、幅広い情報を満載しています。

また、かわら版の情報はホームページにも詳しく掲載しています。

■ホームページのアドレス

<https://chikushi634.jimdoweb.com/>





春になったら筑紫路 雛めぐり

永岡会場（永岡公民館）



女性が中心となって企画運営

永岡自治区は祭りやイベントが盛んな地区ですが、これまで女性が主体となって開催する祭りはありませんでした。そこで令和2年、第1回「永岡自治区雛まつり」を開催。すると300名を超える来館者がありました。その後、コロナウイルスの影響を受け、令和5年に第2回を実施。筑紫コミュニティ内の地域で活躍される福祉委員や民生委員の方々の後押しもあり、女性主体の実行委員会を発足しました。女性のパワーや横のつながりを感じた出来事でした。



地域の中学生もボランティアで参加



スタンプラリー

第3回は令和6年。この年から筑紫神社・筑紫コミュニティセンター・永岡公民館の3か所を巡るスタンプラリーを開催。令和7年からは、費用についても共催によって各会場が費用の分担をはかりました。

ひな人形においても、明治中期のものや昭和初期のものを筑紫野市二日市の方から寄贈していただきました。

またメディアを活用した広報により来場者を増やし、第4回の令和7年には市内外より延べ700名を超える方においでいただきました。

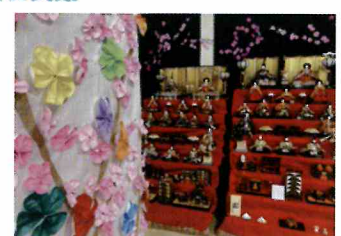
筑紫神社



筑紫コミュニティセンター



永岡公民館



各会場で特徴ある展示を施しました。令和7年の永岡公民館会場には13段の雛段を飾りました。その姿は圧巻で、訪れた人からは感嘆の声が上がっていました。また、会場を彩る折り紙飾りは、すべて実行委員会の手作りで、華やかさを演出してくれました。

開催を経て

令和2年、永岡区民のまつりとして始まった「雛まつり」は筑紫神社と筑紫コミュニティセンターが加わり【春になったら筑紫路 雛めぐり】とタイトルを変え、点から線へとつながっていています。文化や祭りがある地域は元気があります。郷土愛に満ちた活気ある筑紫野市を実現するため、今後は線から面へと筑紫野市一面に拡大していきたいと考えます。

元 永岡区公民館副区長 谷 利文

二日市地区

公民館紹介

北杉塚公民館

世帯数 614 世帯 人口 1389 人 高齢者数 338 人(24%) (杉塚地区を含む)

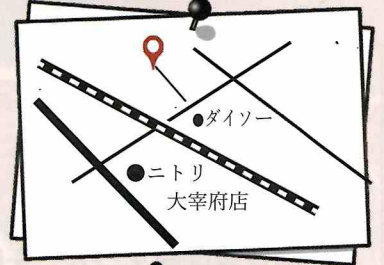
北杉塚は筑紫野市の北端にある細長い地形で周囲を太宰府市に囲まれています。50年前までは二日市小学校や二日市中学校へ通っていましたが、交通量が増え子どもの通学の安全を考え、現在は水城小学校や太宰府西中学校へ通っています。

現公民館は昭和56年2月に建設され、40年経った今では150世帯を超えるまでに増加し、総会行事をはじめ公民館活動に支障をきたし、新公民館建設が待たれるところです。

公民館活動は年間6回のボランティアによる資源回収活動や隣組ごとの毎月の公民館掃除、ごみゼロ運動(公民館除草作業)を実施し、環境整備に努めています。最近、資源回収や除草作業に小学生の参加も見られるようになりました。他には、毎月24日(ニシの日)の挨拶運動や歳末防犯パトロールを実施しています。

従来、杉塚公民館と合同開催していた敬老祝賀会を、令和5年度に初めて、当公民館において単独で実施したところ、対象者から「近くて行き易かった」と大変喜ばれました。

学習室では、いきいきサロン、杉の友会(茶話会)、ひまわりクラブ(カラオケ)、大人書道教室、子ども書道教室、算盤教室、脳トレピアノ、3B体操、健美操、子ども劇場などでほぼ毎日利用されています。週2回、ベテランによるグランドゴルフでは、公園内に和気あいあいとした笑い声とともに真剣なプレーが展開されています。



御笠地区

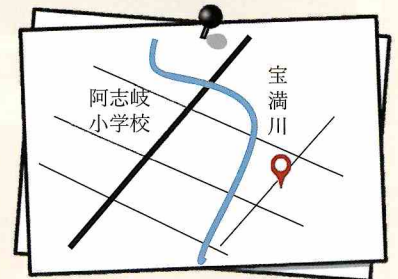
中阿志岐公民館

世帯数 73 世帯 人口 170 人 高齢者数 64 人 (38%)

中阿志岐は過去「宮崎」という地名で親しまれてきました。地区内にある寺院「円徳寺」の住職の氏名からついたものだとされています。

また、荒船神社は 899 年に志賀島の志賀海(しかうみ)神社の分霊を移し祭られたということで、海との深い関りが感じられます。

さらに 1300 年前の古代山城が地域東側の宮地岳中腹に見つかり、国指定史跡となるなど、深く歴史的な関りをもった地域です。地域には土砂災害指定区域が大きく二カ所あり、公民館も避難場所には出来ない状態です。ここ数年、公民館を定期的に利用するグループ活動も無くなり、年間自治会の役員会や農事組合などの会議や各種団体等による利用が主となっています。



夏祭り

高齢者と
子どもの感謝の交流会

グランドゴルフ



上阿志岐東の合同子ども交流会



蕎麦打ち

※各地区公民館の詳細情報は各公民館等に設置している自治公民館ハンドブックまたは筑紫野市ホームページをご覧ください。

